



1. IFMIF/EVEDA のワークショップ開催

国際核融合材料照射施設の工学実証・工学設計活動 (IFMIF/EVEDA) の事業長の主催により9月10～12日にドイツのカールスルーエ研究所にてIFMIF/EVEDA 計画の全体にわたる進捗状況を確認するワークショップが開催され、事業チーム、原子力機構、日本の大学、欧州貢献研究機関等から、約70名が参加した。

このワークショップにおいては10月下旬に開催される第3回 IFMIF/EVEDA 事業委員会に備えて、プロジェクト全体に係る技術文書 (機器仕様決定のための方法論、機器仕様、品質保証計画、等)、2008年の作業進捗状況、2009年の作業計画案、システム間の取り合い等についての議論が行なわれた。

2. IFERC の事業委員会開催

9月22・23日に、第3回の国際核融合エネルギー研究センター (IFERC) の事業委員会がフランス原子力庁サクレ研究所で開催された。

今回の事業委員会では、2009年の作業計画が検討され、11月にスペインのバルセロナで開催される予定の第4回運営委員会に提案することが了承された。この他、IF-

ERCに関連した調達取り決めの状況、計算機シミュレーションセンターに設置するスーパーコンピュータおよびベンチマークコードの選定等を行う特別作業グループの作業や今後の計画等について協議、検討がなされた。

3. BA サイトでの建設工事状況

六ヶ所村のBA サイトでは各施設、設備の建設工事が進んでいる。管理研究棟では鉄骨建て方が9月末から始まり (図1)、10月半ばにはほぼ建物全体の大きさが明らかになる。この他計算機・遠隔実験棟や原型炉 R&D 棟、並びに IFMIF/EVEDA 開発試験棟の基礎工事も進んでいる。

4. 六ヶ所村に国際学校が開校

幅広いアプローチ活動で六ヶ所村に在住する EU 研究者子弟の教育のための国際学校の開校式 (図2) が、9月3日に六ヶ所村であった。開校式には三村青森県知事も祝辞を述べられ開校を祝った。この国際学校の開校については、上記のIFERC事業委員会でも地元の努力に感謝の意が表明された。

日本原子力研究開発機構
核融合研究開発部門



図1 六ヶ所村 BA サイト近況 (平成20年9月30日撮影)



図2 六ヶ所村に開校した国際学校の開校式